

法政大学校友会
外房法友会 会報
第 11 号

発行所 法政大学校友会 外房法友会
発行人 目良俊徳
〒298-0005 いすみ市新田788
TEL 0470-62-9429

外房法友会

「外房法友会」発足4年目を迎えて

外房法友会会長 目良 俊徳

こんにちは！ 長生・夷隅地域に主に住する会員の皆様には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、外房法友会は、平成二十二年十月二日に発足し、今年で早四年目を迎えます。前身の茂原支部から数えますと二十年余りの時が経ちました。そこで、改めて外房法友会の活動を皆様にご紹介したいと思います。外房法友会は、主に会員相互の親睦・交流と母校法政大学の応援を行っています。具体的には、次の通りです。

一 総会・懇親会の開催

総会は、年一回七月上旬に開催します。総会後の懇親会や講演会などのアトラクションは、会員の親睦や交流を深める上で大変好評です。

二 レクリエーションの実施

年一回毎年、秋にバスを利用して東京まで行き六大学野球の応援や法政祭の見学など行っています。二十四年度は神宮球場において母校を応援し明治に勝って「秋季優勝」という感動的な体験をすることができました。

三 会報「外房法友会」の発行

年一回、総会前に発行しています。会報は、会員の紙上交流の場と考えています。内容は自由です。大学時代の思い出、時事評論、体談、俳句など様々です。会員なら誰でも投稿できますので「発行人」宛お知らせください。

四 東京本部や県外・県内支部との交流

毎年一月に東京で「オール法政新年を祝う会」が本部によって開催されます。この会は、全国から千人余の会員が集う会となっております。また、県外では毎年場所を変えて大会が開催されます。今年度は、「法政大学校友会・福井大会」が秋、開催されます。会員なら誰でも参加できますので希望される方は、「発行人」宛お問合せください。

五 一般社団法人「法政大学校友会」正会員加入のすすめ

今まであった「法政大学校友連合会」が今年三月末に解散し、新たな

に一般社団法人「法政大学校友会」となりました。未加入の方は「正会員」としてご入会いただくよう本部から案内がありましたのでご協力ください。

以上が外房法友会の活動の概要です。いずれも先輩後輩一緒になつての楽しい活動となります。一人でも多くの会員にご参加いただき、皆さんで知恵をだしあいながら今年も外房法友会を進めていきたいと思ひます。

(昭和四十六年法学部卒)

ニュース

昨年十一月に行われた、いすみ市長選挙において、外房法友会顧問である太田洋氏が再選されました。太田氏はいすみ市初代市長として、市民と同じ目線で市政に取り組み、人口減少や少子化対策、地域経済再生に力を尽くしてきてきました。



今後ますますのご活躍を祈念申しあげます。

外房法友会 総会報告

照川三郎

平成25年度外房法友会総会が、7月6日午後4時より茂原プラザ平安を会場に開催しました。当日は、来賓として校友連合会組織対策部会副会長鷺津一雄様、千葉県校友会会長伊藤貞雄様、千葉県議会議員阿井伸也様にご臨席をいただき、盛大に

開催することが出来ました。総会終了後の懇親会において、法政大学応援団並びにチアリーダーによるデモンストレーションがあり、その素晴らしい演技等に参加した会員は、学生時代の思いを浮かべていたようでした。



平成25年度総会の参加者集合写真です
応援団の学生も一緒に入り楽しい撮影となりました

また、参加された会員の皆様は、久し振りに合う同級生や先輩や後輩との近況報告を含め、学生時代の思い出に話はずみ時間の経つのも忘れるほどの盛り上がりを見せ、同級生は無論、法友会の仲間との親交が更に深めることが出来、次回も是非参加したいとの声が多数聞かれました。会の最後には、出席者全員が肩を組みそれぞれの思いを込め、法政大学校歌の大合唱により閉会となりました。

(昭和四十八年文学部卒)

損害保険 ジャパン代理店
損保ジャパンひまわり生命保険代理店
中村保険サービス
中村良逸 (昭和44年経卒)
茂原市高師392
TEL 0475-22-2853



応援団のデモンストレーション

オール法政新年を祝う会見聞録

成嶋

まさる

二〇一四年一月二六日(日)、オール法政新年を祝う会に出席してきました。今年は外房法友会からは、佐久間武先輩と成嶋夫婦の三名の出席です。会場は、あまり馴染みのない「ホテル グランパシフィック LE DAI BA」です。寒い中、駅から道に迷いながらもなんとか会場へ着きました。なんでも、この宴会場は日本で一番大きいそうで、確かに一番端は霞んで見えます。

入口でプログラムをもらうと、来賓祝辞に菅(すが)官房長官の名前があります。AKBより忙しい官房長官がほんとに来るのか? 今年の事務局は頑張っているなど思っていたら、急遽欠席とのアナウンスがありました。最初から欠席の予定だったけど、名前だけ載せていたのじゃないかと言う疑いの雰囲気会場にあふれ、なんだか新年を祝う会にふさわしくない感じになってきました。別にそんなに官房長官を見たかったわけでもないのですが、急遽欠席と聞くと不思議とすごい損をしたような気になってしまいます。

しかし、次期総長の田中優子氏が挨拶に立つと、一気に雰囲気は新年らしくなりました。さすが美女(?)

に弱い法政の伝統は続いているようです。現総長の増田氏の挨拶ではざわついていた会場も、次期総長には優しく、これじゃ現総長も、ちよつとかわいそうです。次期総長の挨拶が和やかなうちに終わり、食事と歓談が始まりました。

二〇一三年WBCでサムライジャパンが優勝していれば、山本浩二監督が呼ばれていたのでしょうか、今年にはスポーツ健康学部長のトークショーということになりました。ここでは、アカデミックな話よりも、酒を求めて歩きまわると言う法政の伝統が、発揮されていたようで、会場はすでに、居酒屋状態となり、まことにおめでたい。佐久間武先輩の話では、次期総長と写真を撮りたい人が、長蛇の列を作っていたそうです。もうなんだが、居酒屋と言うより、アイドルの握手会みたい。

その後、アトラクションとなりニューオレンヂスイングオーケストラ、交響楽団、応援団吹奏楽部とますます盛り上がってきました。料理もおいしくいただきました。料理もおいしく飲んで、お酒も新年らしくいっぱい飲んで、いい気分です。続いて、抽選会、応援団による応援歌、校歌斉唱でお開きとなりま

した。
残念ながら、抽選会には当たりませんでした。東京のホテルで食事をする機会はめったにありませんから、これで一名一万二千円、夫婦で二万円なら安いかもしれません。
来年は箱根駅伝で優勝し、祝賀パーティーを兼ねて盛大にやってもらいたいものです。ぜひ皆さんも参加されてはいかがでしょうか?

(昭和五十七年法学部卒)



齊藤法律事務所

弁護士 齊藤 友嘉 (昭和52年法卒)

東京都中央区銀座 7-15-5 共同ビル 401号室
電話 03-3543-1341
FAX 03-3543-1343



不二サッシ株式会社

営業本部特需部 参事 鈴木 勝善 (昭和42年法卒)

東京都品川区西五反田 4丁目 32番 1号
TEL 03-5745-1237 FAX 03-5745-1296
携帯電話 090-6795-2524

教科書の虚子の俳句

渡辺光夫



中学校・高等学校の国語教科書に掲載されている、高浜虚子の俳句を調べてみた。「現代俳句評釈」学燈社（昭和四十二年発行）の清崎敏郎による。それによると、二十三句上げられている。一つの教科書に全部まとまって載っているのではない。以上作品を年代の古い順に上げて、通釈を一部作品につけた。俳句上の参考になればと思う。

○遠山に日の当たる枯野かな

眼前には、一面の枯野がひろがっている遠方の方には一脈の山が亘っていて、その遠山にだけは、明らかに日が当たっている。

○桐一葉日当りながら落ちにけり

日の当たっている桐の一葉が、ついと枝を離れて、ゆるやかに翩翩として大地に達した。

○金亀子 擲つ闇の深さかな

金亀子が灯をとりに来て、ぶんぶんと灯下をうなつて飛んでいた。その金亀子をつかまえて、窓外の闇にほうる、その闇は深く深く際限もなく続いておる。

○春風や鬨志いだきて丘に立つ

○露の幹静かに蟬の歩きをり

○野を焼いて帰れば燈火母やさし

○晩涼に池の萍みな動く

○白牡丹といふといへども紅ほのか

○この庭の遅日の石のいつまでも

○流れ行く大根の葉の早さかな

○木の芽して今おもしろき雑木かな

○もの言ひて露けき夜と覚えたり

○夕影は流れる藻にも濃かりけり

○道のべに阿波の遍路の墓あわれ

○大空に羽子の白妙とどまれり

○手鞠歌かなしきことをうつくしく

○大根を水くしゃくしゃにして洗う

○初蝶来何色と問ふ黄と答ふ

○莖右往左往菓子器のさくらんぼ

○海女とても陸こそよけれ榎の花

○手で顔を撫づれば鼻の冷たさよ

○彼一語我一語秋深みかも

○去年今年貫く棒の如きもの

世間では、忙しかった年の暮れが明けて、のどかな正月となった。が、自分にとつては、十二月三十一日も、一月一日も同じ一日であつて、さしたる変化もない。俳小屋という書齋に閉じこもつて、毎日の日課である仕事をくりかえしているばかりである。いわば、一本の棒のような去年、今年を貫き通しておるといってよいようなものである。

（俳句の機関誌より一部転載）

（昭和三十二年経済学部卒）

凄いぞ法政

佐久間 武

法政大学卒業生の男性アナウンサー、女性アナウンサーの数が、NHK（地方局を含む）で1位、民放で3位になったそうです。「法政大学自主マスコミ講座」（以下、自主マスコミと略す）を開設・運営し、アナウンサーの生みの親である稲増法政大学教授が、25年間の活動をまとめ、中央公論新社から「就活は最強の教育プログラムである」との題名の本を出版しました。自主マスコミの本であり、テレビ、新聞で活躍している読売新聞特別編集委員の橋本五郎氏が、巻末の、むすびに、「鳥の目」と「虫の目」を、との題で一文を寄稿しています。

女子アナ特集の週刊誌で、何度か、母校が頑張っていることは知っていました。この本を読み「凄いぞ法政」と言わざるを得ません。現在、法政OB・OGでマスコミ露出度が高いのは、菅官房長官と朝のNHKニュースを担当している美人の鈴木菜穂子アナウンサーではないでしょうか。

25年間で189名のアナウンサーを自主マスコミは世に送り出していますが、東京キー局で、自主マスコミ出身で現在活躍中のアナウンサーは、

「ザ！世界仰天ニュース」（日本テレビ）の久野静香、「NEWS23」（TBS）の蓮見孝之、「サタデーずばッと」（TBS）の堀井美香、「みんなのKEIBA」（フジ）の谷岡慎一、「めざましどようび」（フジ）の木村拓也、フジのナレーションで活躍中の川野良子、「neo sports」（テレビ東京）白石小百合などである。この他、189名のアナウンサーの中には、賞を取ったりして活躍している者も多数いる。

しかし、この本の中で最も注目するところは、自主マスコミは、正規の授業でもないのに、外部の講師の方が驚くほど、講座生の礼儀正しさと課題に取り組む熱い姿勢。そして、リクルートスタイルで、茶髪やピアスを付けている学生もいない。授業中に飲みものを机の上に置いている講座生は皆無。席が一番前から埋まる。スタンプや口座の先生に会えば大きな声であいさつをする。遅刻したり、後ろの席から座るような学生に対しては、出ていけと一喝。その結果、自主マスコミからは、アナウンサー以外に、マスコミ以外の一流企業にも就職者を多数出している。大学

の教授になったものもいる。本の内容をダイジェストしましたが、母校の応援の意味も込めて、購読して頂ければ幸いです。

（昭和三十九年法学部卒）



稲増教授と著書

麻生司法書士事務所

司法書士 麻生 武
(平成3年法卒)

茂原市鷺巣295番地8
電話 0475-26-5710
FAX 050-3737-5806

メガソーラーコンサルタント

AIKA 愛花創業株式会社

代表取締役 花澤 良三
(昭和46年経卒)

市原市海士有木661番地3
TEL&FAX 0436-36-1160

比叡山を訪ねて

今井 富雄

◇四十余年ぶり・・・昨年の夏、高等学校の修学旅行以来四十余年ぶりに比叡山延暦寺を訪ねてきました。当時の様子を思い起こしてみますと、根本中堂の広い堂宇の中で、お坊さんからお説教を聞いたことは覚えていますが、どんな内容であったのか、全く記憶になく、初めて参拝する気持ちでした。私は今回の旅行を、「自分を見つめる時間を持つこと」を目的にしていました。千二百年の時を超えて輝き続ける『不滅の法灯』そして大師自らが刻んだとされる秘仏薬師如来を安置する根本中堂や阿弥陀堂などの諸堂を中心とする東塔。そして、伝教大師最澄のお墓(御廟所)である浄土院、弁慶のいない堂や信長の焼討ちを逃れ現存する唯一の建物である瑠璃堂・焼討ち後秀吉の手により建てられた釈迦堂などのお堂が並ぶ西塔(さいとう)の二か所を訪ねることとしました。比叡山到着は夕方近くになり、殆どのお堂が閉まりかける時刻でした。私は、浄土院が閉まる前には非お参りを済ませようと、両脇を老杉の木立に囲まれ、うす暗さを覚えましたが、大きな石灯籠が並ぶ石段を、足早に下り始めました。もとも

と比叡の山深い所にあるために辺りは静かな所とは言え、より一層静かに感じ、「静寂」そのものでした。ガイドブックにもあるように比叡山で最も清浄な聖域とされる浄土院に佇んだ時は、何か心が洗われるような思いが湧き、合掌しました。

◇今でも生きていると感じた伝教大師最澄の教え・・・
「国宝とは何物ぞ。宝とは道心なり。」

「己を忘れて他を利用するは慈悲の極みなり」

伝教大師は、『「人づくり」こそ「国づくり」』であると考えられた方の方です。『人間一人ひとりの心の中に、自分のことだけではなく、他人のことも思いやれるようなやさしい心の持てる人を育てることが大切である。そのような人づくりをして行こう。』という説かれた方です。この人づくりの課題は今日の学校や社会にも求められている課題です。今日でも「このような人をたくさん育てることこそが、争いごとのない、誰しもが平等で、明るく楽しい平和

な世界・穏やかな人間社会を作り上げることができているのではないですか？」と、最澄は私たちに語りかけてくれているように感じます。お釈迦様は、このような「理想の世界が極楽浄土にある」と説かれたのであれば、伝教大師最澄は「極楽浄土の世界をこの世(現世)に実現できないだろうか」との思いを抱いて実践され、生きられた方ではないかと思えます。お参りを済ませ、その空気に触れられたという感謝の気持ちで心静かに、宿である延暦寺会館を目指しました。

私と「伝教大師最澄さま」の

出会い

小学生のころ、私の祖父(後の師僧)から一冊の絵本を読むようにと渡されました。その絵本は、伝教大師最澄さまの一生を絵本にした、本の名前は「最澄さま」だったと記憶していますが、ごく薄い絵本でした。

延暦寺のバスターミナル(大型駐車場・国宝館前)から、根本中堂などの東塔に向かう坂(結構きついですね)に、大きな額絵が飾られ、最澄さまの一生が描かれています。渡されたものは絵本ですから、この大きな絵に描かれた

内容より、非常に理解しやすい内容でした。

絵本で印象に残った場面は、『唐にわたる前の修行中に、山中で、ひとつのカギを見つけ、唐の勉強をしようと思ったら、唐のお坊さんが、「この蔵の中には素晴らしい教えを書いた書物がしまわれているのだが、天台大師(ちぎ)が、その蔵にカギをかけて、カギを空高く投げてしまった。だから開けられないのです。』と話された。伝教大師最澄さまは、ふと感じて、日本で拾ったカギをその鍵穴にさしこんだら、見事そのお教の入った蔵を開けることができた。そして、たくさん勉強して日本帰って来た。』という場面と、『比叡の山中を歩いていると「光り輝く大きな木」があった。その木は、「私を削って仏にしてください。」と訴えている。最澄さまは、仏を3体彫り上げた。という場面』です。後々の世に作られたお話しではあるかもしれませんが、そのような伝説をつくらせるほどの「最澄さま」の偉大さは、現在ある

(※次頁へ続く)

(前頁の続き)

「浄土宗、浄土真宗、禅宗の臨濟宗や曹洞宗、そして日蓮宗など開祖となった人々を、学ばせて育てた日本仏教の元締めであるにふさわしいお人(高僧)であると思います。その最澄さまのお墓である「浄土院」をぜひ訪ねたいと思っていました。

浄土院・伝教大師御霊廟を訪ねて充実した二日間は、三条河原町や京都駅周辺を散策し、帰路に就くと、比叡山という修行の場、学びの場である、まったく経験もしたことのない世界にいたことを改めて感じました

(昭和五十一年法学部卒)

法政大学全国卒業生の集い 平川 忠勝

会長から、昨年の「法政大学全国卒業生の集い・彩の国埼玉大会」について記事を書いて欲しいと依頼がありました。風邪から気管支炎になってしまい、治るのに一か月かかり資料を見て思い出しながら書きました。

2013年9月6日に記念ゴルフ大会が「霞ヶ関カントリー倶楽部」で、早朝からホールインワンめざしプレイしていました。前夜祭は、川越プリンスホテルで行われ、翌日、9月7日は「パレスホテル大宮」で記念式典、記念講演、懇親会が行われました。参加人員が千名で旧友、友達を探すのに一苦労しましたが、一年ぶりの再会に安堵しまし

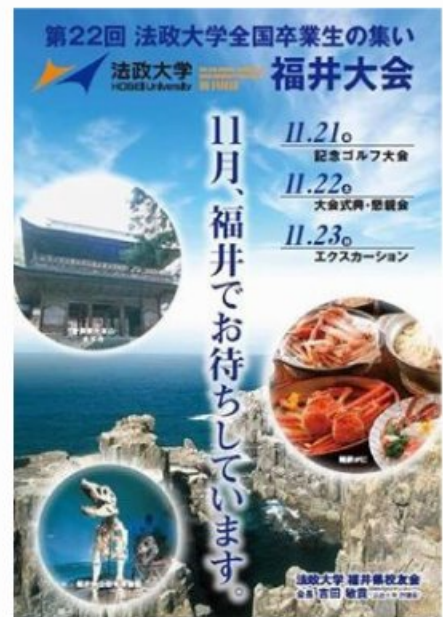
た。外房法友会の参加者は佐久間さん、古山さん夫婦、平川夫婦の五名で、今井さんは急遽欠席となりました。

記念式典が定刻通り開始され、金子正之さんの開会宣言、国歌斉唱、校歌斉唱、物故者追悼の黙祷、校友連合会桑野秀光会長の挨拶では来年四月から「一般社団法人法政大学校友会」として再スタートするとの説明がなされました。続いて大会実行委員会会長山口泰男氏の挨拶、大会実行委員長大井巴喜彦氏の来賓紹介があり、上田清司埼玉県知事の歓迎の挨拶、来賓祝辞として、清水勇人さいたま市長、増田壽男法政大学総長、千葉大一後援会会長の挨拶があ

り、井崎吉一大会副実行委員長の大会宣言、宮澤忠昭大会副実行委員長の閉会宣言で式典は終了しました。

引き続き、田中優子社会学部長(現在法政大学総長)の「未来のため」の江戸学、そして法政大学のこれから」という記念講演と、驚宮神社土師一流催馬楽神楽の説明がありました。特別講演で、山本浩スポーツ健康学部長から、翌日が東京オリンピック決定の日でしたので、開催地を決める投票の仕方等について説明がありました。

懇親会においては、法政大学出身の国会議員が九名、知事一名、市長十八名がいると報告があり、出席している神保国男戸田市長、中野和信蓮田市長、安楽岡一雄館林市長、鈴木直道夕張市長、川井敏久元松戸市



福井大会の案内です
詳細は「法政大学福井県校友会」
フェイスブックをご覧ください

長の紹介が壇上であり盛大な拍手をうけていました。アトラクションに南越谷阿波踊り、来年第二十二回大会が開催される福井県校友会へ、埼玉県校友会からの引継ぎが行われ、法政大学応援団のアトラクションと続き、参加者全員で肩を組み円陣となった校歌斉唱は圧巻でした。

9月8日には二つのエクスカーションがあり、それぞれ日帰り旅行を楽しんでいました。今年11月には福井へ行き、校友の輪を広げ、蟹を食べましょう。

(平成五年経済学部卒)

「一生勉強 一生青春」 江澤 亜矢香

私は2000年4月に工学部経営工学科に入学しました。主に小金井キャンパスで多くの時間を過ごし、一年時には、毎週金曜日になると多摩キャンパスで実験と体育の授業を受講していたことを、今懐かしく思い出しています。

実家は千葉県勝浦市です。諸事情により、実家の勝浦から毎日およそ三時間半の距離を通学してました。一時限目がある日は、朝の五時二十分に自宅を出ました。冬の時期は、まだ外は真つ暗です。都心とは違い、電車やバスの本数が限られており、一本乗り遅れると授業開始に間に合わないというのが実情です(泣)。理系の学科に加え、教職課程を受講していたので、授業数も多く、朝から夕方まで学校にいることが多かったのですが、遅刻せずに通うことができ、当時は達成感でいっぱいでした。今思えば、「あり得ない距離を通学していたんだな・・」と自分に驚いています。

大学では、友人と三人で行動していましたが、三人とも性格が異なり、今でもメールで近況報告をしています。大学時代は三人で色々な所へ旅行しました。二年生の夏は、二泊三日で

沖繩旅行。本州では見たことのない澄んだ海に感動し、思わず飛び込みました。そして、三年時の秋には、夜行バスで関西方面へ。京都・神戸・大阪の三都物語・・。常に三人で話し合い、臨機応変に行動しました。その他にも、何気ない日々の会話など、楽しかった思い出ばかりです。

そして大学を無事に卒業。教員採用試験に合格し、4月から初任校の船橋市立海神中学校(当時は全校およそ五百三十人)で教員生活がスタートしました。右も左も分からない私でしたが、教員という職業の楽しさややり甲斐を教えてくださいました。海神中では三年間お世話になりました。一年目は、とにかく学校という現場に慣れることに必死でした。そして二年目は、部活動指導に力を注ぎ、専門であるソフトテニス部女子の顧問として、五十名近くの部員の指導に当たりました。土日は弁当を持参し、一に練習、二に練習・・。朝から夕方まで活動し、夏は真っ黒に日焼け。大会では団体、個人とも三位を受賞するまでになりました。教科指導だけでなく、部活動指導の大切さを学びました。三年目にして初めての担任。学級経営の難

しさを痛感しました。

大学を卒業してから十年・・。現在は、結婚し三歳の娘を持つママです。そして、長生郡の「白子中学校」というところで数学科の教諭として勤務しています。今年度の異動により着任しました。仕事と育児の両立に奮闘中です。会報への原稿の依頼をお受けした時は、勤務先の異動が決まったらばかりで、新しい生活への不安もありましたが、教員として十年という節目でもあり、今の私があるのは、法政大学での四年間があったからだと感じの気持ちからお受けすることにしました。

「教員」という職業に適しているかどうかは分かりませんが、私はこの職業が大好きです。様々な行事を通して、生徒と共に汗と涙を流し、共に感動の瞬間を味わえるところが何よりも魅力です。しかし、順風満帆なときばかりではありません。時には心のすれ違いから問題が起こることもあります。また、今は学力面や保護者との接し方に難しさを感じています。しかし、これまで何度も生徒の言葉に助けられ、パワーをもらいました。今日に至るまで携わった生徒のみんなに感謝の気持ちでいっぱいです。この4月には新しい生徒たちと出会いました。これから、白子町の子どもたちと切磋琢磨しな

がら、頑張りたいと気持ちを書き込みにしています。

大学四年間で私自身、遠距離通学しながら一般科目と教職課程を取得できたことは「忍耐力」を養うことにつながる共に、「有効な時間の使い方」を学びました。また、全国から集まった多くの人の出会いを通して世界が広がるなど、有意義な大学生を送ることができました。社会へ出る前の学生でいる間に、様々なことを経験し、社会へ旅立つエネルギーを蓄えておくことが大切だと感じています。

最近、就職しても続かない・・。というニュースを耳にします。学生時代の失敗が少ないことや失敗をどのように乗り越えるかに原因があるのではないかと個人的に感じています。私は社会人になってから大きな挫折を味わい、悩みました。その経験から生徒には「人は失敗して覚える」「失敗は成功のもと」だと、よく話をします。たくさん失敗や挫折を経験する中で、

(前頁の続き)

どのように問題解決ができるか、悩む自分と真剣に向き合って乗り越えてほしいと思います。

私の好きな言葉の一つに相田みつをさんの「一生勉強 一生青春」という言葉があります。私も、まだまだ教員として未熟で、毎日が勉強の連続です。人はいくつになっても「学ぶ姿勢」が大切なのだと思います。

定年退職を迎えるその日まで、今自分にできることは何かを常に考え、向上心を持って子どもたちと向き合っている自分であり続けたいと思います。

今回、改めて自分の進むべき道を考えるきっかけをくださったことに感謝申し上げます。

(平成十六年工学部卒)

ラグビー観戦に参加して思う

石井 孝

平成25年度の、法友会外房支部の研修会に参加して外苑秩父の宮ラグビー場にて行われた「大東文化大法政大の対戦」を観戦に行きました。ラグビー場に着いた時には、キックオフが既にされ試合は始まっています。

天候に恵まれ、芝生の緑が清々しく感じられ、熱戦の繰り広げられる雰囲気を感じています。

隣にある神宮球場では、野球を応援する声が響いていました。試合は、法大サイドで押されぎみで行われていたように思いましたが、ふと思いついた「技に溺れることなかれ」とい

う高校のときの恩師の言葉が思い浮かびました。スポーツの盛んな六大学系のリーグではあると思いますが、基本の習得により工夫や応用が大切なことだと痛感しました。

初心の人、二つの矢持つことなかれと、言われますが文武両道の法政大学の精神の真髄は単なるスポーツの雰囲気作りではなく、初めの矢「初心」を等閑にしてはならないことと思えました。

就職難の社会世相のなかで、今の若齢層に欠けている返事・挨拶・丁寧語・豊かな心・丈夫な体という初心の矢を忘れてはならないことだと

思います。

試合の方は、惜しくも敗れてしまいました。以前の輝かしい法大ラグビー部の歴史には、先輩ラグビーや皆さんの応援する気持ちが込められているものと思います。試合は勝つか負けるかではなく、普段の力を出すことが大事なのだと思います。

ラグビーの試合は、「ノーサイド」で終了するのですが、ノーサイドファンクションという立食交歓会が試合終了後よく行われるそうです。そう、隔たりのない精神だと思います。

学生時代から社会へ飛び出していく、彼等にラグビーを通じたルールの大切さが社会生活でも大変役に立つものと思います。

法大生時代、民法債権各論ゼミナールの恩師、遠藤先生が曰く「法学部の出身者である以上、法文を充てはめたものの考えの学力を身につけなさい。」という言葉は今更ながらに思い出します。

これは、ラグビーははじめあらゆるスポーツに通ずるものであることと思えますし、社会生活での一番大切なことであり、法令コンプライアンスの精神であると思えます。

緊迫した国際情勢のなか、渦中の中で生活しなければならぬ私たちが

は、法大時代に学んだ基本を大切に、この遠い道程のためお互いに出会えた縁なのかもしれないと思う今日この頃です。

(昭和五十七年法学部卒)



秩父宮ラグビー場にての記念写真です



平成26年度総会案内

平成26年度の「外房法友会総会」は7月5日(土)に開催します。

詳細は同封の総会案内をご覧ください。

今年法政大学男性合唱団

アリオンコール

の皆さんを

総会に招待しています。

総会に参加して、学生さんの

青春のコーラスを聴きませんか。



法政大学男性合唱団 アリオンコール

市町村別会員数

茂原市	201
勝浦市	33
いすみ市	84
一宮町	22
睦沢町	9
長生村	22
白子町	17
長柄町	14
長南町	19
大多喜町	14
御宿町	19
地区外	6
合計	460

外房法友会 データブック

大大大先輩は	昭和24年卒業
男女の 会員数は	男 381 女 79
最も遠くから 参加している 会員は	毎年東京から総会 に参加している人 が2人います

編集後記
 今年は二年ぶりに庭の桜を観ることが出来ました。昨年は大木に数輪しか花がありませんでした。長生郡市内では、茂原の町中は大丈夫でしたが、長柄・長南・睦沢あたりは全滅でした。犯人は「うそ」という鳥です。三月に大群で桜の木にきて芽をつまんでしまします。地面が見えなくなるくらいに芽が落ちます。来年も「うそ」が来ないことを今から祈っています。(古山)

測量設計全般・土地建物登記

株式会社三陽測量設計

古山弘 (昭和49年工卒)

長生郡睦沢町小滝 475-1
TEL 0475-44-1869